



~~UNMANNED~~

無人駅の芸術祭 / 大井川

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA

2024 開催報告書

 **NPO CROSS MEDIA!A**
NPO法人クロスメディアしまだ

NPO 法人クロスメディアしまだ www.cms.or.jp
島田市日之出町 4-1-1F(C-BASE) TEL0547-39-3666

UNMANNED

無人駅の芸術祭 / 大井川

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA

| 事業報告 | 目次 |

01 概況	…3
02 開催概要	…5
03 メインビジュアル	…6
04 アーティスト及び作品実績	…7
05 芸術祭オフィシャルイベント	…35
06 関連イベント&プログラム	…37
07 協力団体・協力会社	…41
09 広報	…42
10 来場者数	…48

01 概況

無人駅を現代社会の象徴と捉え、アートを手法に地域をあらわし発信するプロジェクト「UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川 2024」(以下、無人駅の芸術祭)が 2024 年 3 月 17 日をもって閉幕した。7 回展となる今回は 19 組の作家による合計 30 の作品を制作展示し、各イベントプログラム等を開催した。会期中は全国各地に加え台湾や韓国といったアジア各国からも多くの来場者があった。

作品会場及びパフォーマンスの舞台は、大井川流域に位置する島田市及び川根本町の計4エリアにて会場を設定した。作品数の最も多い抜里エリア(集落全域)を中心に、島田エリア(島田駅前通り、川越し街道)、金谷エリア(大井川鉄道代官町駅・日切駅、KADODE OOIGAWA)、川根本町エリア(三ツ星小学校、青部地域)となった。設置場所としては、無人駅ホームや駅舎、空き家や空き店舗、耕作放棄となった茶畑や竹藪、農作業小屋などが主な会場となった。地域における様々な遊休空間が芸術祭と共に蘇り開示されていく点が特徴であった。

アーティストによる作品表現においては、大井川流域の様々な資源が軸となり、大井川や茶畑の雄大な風景など土地の持つ力を表現する作品や、地域の人々の記憶や伝承など集落に生きる人々が介在する作品が創作されていった。いずれの作品も大井川流域の土地に根差した「ここでしか表現することのできない」作品となった。

作品制作の過程においては、地域団体をはじめ、多くのサポーターや住民に協力をいただいた。特に抜里エコポリスにおいては、芸術祭を動かす重要なエンジンとなっている。作品会場の検討から作品の土台や制作をチームとして進める姿や、会期を通じた作家や来訪者との関わりには感動をおぼえる。県内外のサポーターは、通年での地域活動の作業に参加するとともに、作品制作への参加や会期中の運営など、地域住民との交流を楽しみながら参加する姿が印象的であった。

今展での特徴的な取り組みを三点あげる。

一つは、東アジア文化都市 2023 静岡事業に関連した韓国アーティスト 3 名 2 組の参加である。約 1 ヶ月にわたる 2 回の滞在制作において市町内の小中学校等でのアウトリーチ活動などを実施した。受け入れ側となる地域において初の海外アーティストであったが、幅広い交流とともに滞在から制作への支援が行えた。多様な人材を自然に受け入れる地域土壌づくりが複数年での芸術祭の取り組みを通じた成果であると考えられる。

二つに、関係人口事業を通じ抜里地域で受け入れを実施した、女子美術大学によるフィールドワークの成果発表の場を芸術祭にて設定した点である。学生たちのリサーチ滞在の場面において、数十年の間、表に出ることのない「獅子頭」と出会った。各人の制作とは別に「獅子頭」への調査を行うとともに、住民とともに復活の演舞を実施し映像に記録した。地域に眠っている資源の再発掘に創造的な視点を持つ異分子が入ることの意義を痛感した。

三つに、地域課題に対する発展的な視点である。耕作が放棄された茶畑を活用したアート作品が多数登場してきた点である。小山真徳「てのひら」、ヒデミニシダ「音の要塞」、TAKAGI KAORU「抜里の茶畑に花を咲かせる」などは、広大な茶畑の刈り取りや整備を複数日かけて地域住民や県内外のサポーターとともに実施した後作品制作へと入った。また、東弘一郎「茶畑のサイクリスト」、さとうりさ「縫い合わせ」など、茶畑に対する

新たなアプローチをアートにより実践することができ、同時に作品の設置を快諾した地域における当取り組みへの信頼と理解の深度を実感することができた。地域の枠を越え、県内外各地から、通年で一年に何度も茶畑への作業に参加する多くの人々の姿をみると、耕作放棄茶畑は地域課題とは言えない。多様な人々が集い、交流し、活動する重要なフィールドであり舞台へと変化したのだと痛感する。

当芸術祭の7回にわたる開催を通じ、アートの先で地域への再発見を導くことを主目的とし「無人駅エリアの風景や人の営みを開示する」という点において1つの到達点に達することができたと考える。なにより、「抜里エコポリス」をはじめとした住民の変化、アーティスト達との絆、そして多様な人々の行きかう集落の変化は芸術祭をはじめた7年前からは想像もできないような目覚ましい変化を遂げている。

今後は、より民俗学の視点を有した取り組みへと変化させ、大井川流域の集落から生まれ集落が動かす新しい地域芸術の姿を模索したいと考える。大井川の持つ特異性ととともに、地域農業、コミュニティ、四季折々の風景への道しるべという地域の「日常〜ケ」にアートが存在し、アーティストという人間が地域に混ざっていく姿を目指して。

確かに人は減っていく。減っていくから地域は消滅するのか。我々はそんなことはないと断言する。現代社会が効率化、スピード化の先で捨てていくもの、数値や既存の価値の中で“お荷物”的存在になっていくもの。アートによりそれは日本全体にとっての新たな価値となり無人と呼ばれる地域がひらいていく姿は1つの奇跡と呼ばれるかもしれません。我々はこの希望のプロジェクトの歩みを止めることなく進めていきたいと考える。

作品の制作や設置、会期の運営など、多大な支援をいただいた多くの方に感謝を申し上げます。

UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川2024

総合ディレクション

NPO法人クロスメディアしまだ

大石歩真・兒玉絵美

02 開催概要



UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 2024

Unmanned Station Art Festival, OIGAWA 2024

- 会 期 2024年2月10日(土)-3月17日(日)
37日間
- 会 場 島田市及び川根本町を流れる大井川流域の集落、大井川鉄道無人駅、川越し街道、
島田駅前
- 参加作家 計19組(五十音順):東弘一郎・LEE ISOO・Instant Coffee・上野雄次・内田慎之介・かず
さ・形狩りの衆・木村健世・小山真徳・佐藤悠・さとうりさ・獅子の歯ブラシ×女子美術大学・
泰然+きみきみよ・TAKAGIKAORU・中村岳・ヒデミニシダ・前田直紀・森繁哉・カ五山
- 主 催 NPO法人クロスメディアしまだ
- 支 援 アーツカウンシルしずおか
- 助 成 公益財団法人 福武財団「アートによる地域振興助成」
公益財団法人 朝日新聞文化財団
島田市「アートによる地域づくり推進事業」
- 協 力 島田市、川根本町、大井川鉄道株式会社
- 公式サイト <http://unmanned.jp/>
- 運営事務局 UNMANNED 無人駅の芸術祭/大井川 運営事務局(NPO法人クロスメディアしまだ)
静岡県島田市日之出町4-1-1F(C-BASE) TEL:0547-39-3666

※支援



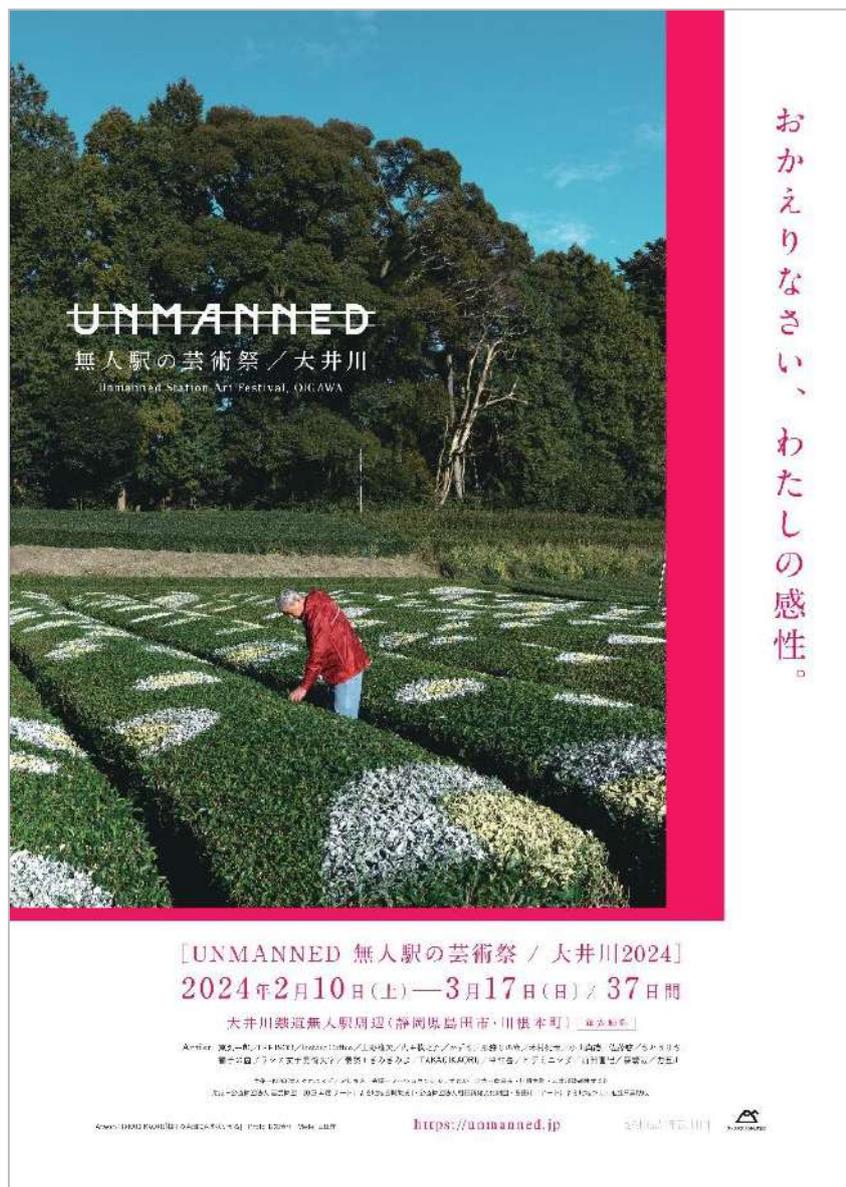
※助成

公益財団法人 福武財団
Fukutake Foundation

03 メインビジュアル

無人駅から広がる集落に暮らす人々とともに、アート作品をイメージさせるメインビジュアルに展開した。ポスターやパンフレットの印刷物、公式サイトなどに展開し、芸術祭の魅力伝える重要なコミュニケーションツールとなった。

メインビジュアル(ポスター)



- ・作品: TAKAGI KAORU「抜里の茶畑に色を咲かせる」
- ・Photo: 良知慎也
- ・モデル: 山田昇

04 アーティスト及び作品実績

計19組のアーティストが参加し、作品や表現の発表を行った。

	アーティスト	作品タイトル	作品設置場所(エリア)
1	東弘一郎	茶畑のサイクリスト	しまの空き地(抜里駅)
2	LEE ISOO	Frying Ddobok	駅舎(抜里駅)
3	Instant Coffee	A NOOK	大井川河川敷(抜里駅)
4	上野雄次	まつる/2024~オープニング~ 宮田歩×パラグライダー茶会 車上茶会 大井川流上茶会	堂山(抜里駅) 大井川上空 プラザおおるり(島田駅) 大井川(川根温泉笹間渡~抜里)
5	内田慎之介	NUKURI HEROES	ヌクリハウス(抜里駅)
6	かずさ	碗琴道島田流	清治のちゃべや(抜里駅)
7	形狩りの衆	顔の家	天野邸(抜里駅)
8	木村健世	無人駅文庫 代官町	駅ホーム(代官町駅)
9	小山真徳	てのひら	茶畑(抜里駅)
10	佐藤悠	おはなしの駅 門出	KADODEOOIGAWA TOURIST INFORMATION おおいなび入り口
11	さとうりさ	本人 地蔵まえ3/サトゴシガン 地蔵まえ4/縫い合わせ くぐりこぶち メダムK	ぼいんぼいん山(抜里駅) 5班集会所(抜里駅) 駅近くの茶畑内(抜里駅) しまの竹やぶ(抜里駅) 天野邸(抜里駅)
12	獅子の歯ブラシ ×女子美術大 学	風土のボディランゲージ	川根茶めぐり園(抜里駅)
13	泰然+きみきみ よ	あかりのありか《OI》	三ツ星小学校(川根本町)
14	TAKAGIKAORU	内なる器は際限なく育っていくはずだ 抜里の茶畑に色を咲かせる	元鈴木家(抜里駅) 東原の茶畑(抜里駅)
15	中村岳	遡及空間(そきゅうくうかん)	逢おう丘(川根本町・青部駅)
16	ヒデミニシダ	境界のあそび場Ⅱ/ちゃばらのカーテン 境界のあそび場Ⅳ/音の要塞	茶畑(抜里駅) ぼいんぼいん山(抜里駅)
17	前田直紀	土纏~tsuchi.matou~	島田駅前通り(JR 島田駅)
18	森繁哉	大井川常民大学 抜里版・竹取物語	ヌクリハウス(抜里駅) しまの竹やぶ(抜里駅)
19	カ五山	川越し・渡る願い 日切・願いを繋ぐ	川会所(JR 島田駅) 駅ホーム(日切駅)

アーティスト 東弘一郎
作品タイトル 茶畑のサイクリスト
作品設置場所 しまの空き地(抜里駅)

鑑賞者は防霜ファンからの視点で茶畑を一望でき、自転車を漕いで風車を回すことができる。また、作品の体験をすることで鑑賞者自身が景観の一部となる。

高速道路を降りて茶畑だらけの風景に一気に変わると、島田に入ったという実感が湧く。整えられた茶樹の独特な形状と、それを見守る防霜ファンが立ち並ぶ風景はとても美しい。作品を通じて地元の人々と訪れる人々の間での対話を促し、この美しい茶畑の風景をさらに愛してもらうきっかけとなればと思う。



アーティスト Lee Isoo
作品タイトル Flying Ddobok
作品設置場所 大井川鐵道「抜里駅」

※「東アジア文化都市静岡 2023」アーティスト・イン・レジデンス事業

代表作である Frying Ddobok を立体化した作品。集落の中心である抜里駅に作品を設置することで、誰もが経験する出会いと別れを象徴化する。5センチの小さなDdobokの展示と、日常の随所に贈り物のような出会いが隠れていることを表現する。

同時に約1カ月にわたる滞在時に島田市～川根本町の延べ200人がパネルに描いた「10×10project」も展示。200人の作品とイ・イス自身の作品を一同に展示し一つの作品とする。



■イ・イス「10×10project」アウトリーチワークショップ実績

- ・11月11日(土) 島田第二中学校美術部 9名
- ・11月15日(水) 島田商業高等学校 35HR 34名
- ・11月17日(金) NPO 法人ひまわり事業団それいゆ、ケア研究所 16名
- ・11月17日(金) 五和保育園放課後児童クラブみんなっこ 14名
- ・11月19日(日) 小長井マルシェ出店 17名
- ・11月20日(月) 本川根小学校放課後児童クラブ 12名
- ・11月22日(水) 島田市立相賀小学校 30名
- ・11月22日(水) 川根小学校放課後児童クラブ 10名
- ・11月24日(金) 聖母保育園年長 35名
- ・11月24日(金) 金谷第2放課後児童クラブ 18名
- ・11月27日(月) NPO 法人フリースペースうえるびー12名
- ・11月28日(火) ミツ星小学校放課後児童クラブ23名



アーティスト Instant Coffee
作品タイトル A NOOK
作品設置場所 大井川河川敷(抜里駅)

※「東アジア文化都市静岡 2023」アーティスト・イン・レジデンス事業

Nook のインスピレーションは、バンクーバーのアパートのキッチンから生まれた。

家庭的な日常が公共空間に変容し、作品であると同時に、社会的相互作用のための起爆剤としての役割を果たす。

抜里の美しい茶畑、密林のような山を回りながら流れる大井川を見ながら、このすべてを一緒に鑑賞できる場所を設けたいと考えた。廃材を活用し、材本来の形を活かし、既存の NOOK を新たなサイズと形で表現した。未来のための道を考え、親睦を深める場所を提供する。



アーティスト 上野雄次
作品タイトル まつる/2024～オープニング～
作品設置場所 堂山(抜里駅)

開幕初日に抜里の象徴的な場所に1本のフラッグを立てる。竹の切り出し、運搬、立上げまでを集落の人々で行うことで、大井川流域の人々と暮らしを言祝い、芸術祭開幕の狼煙をあげる。

*2月10日(土)15時～



アーティスト 上野雄次
作品タイトル 宮田歩×パラグライダー茶会
作品設置場所 大井川上空

大井川に吹く風を知り尽くす、パラグライダー世界チャンピオンである宮田歩とのコラボパフォーマンス。大井川上空にて茶会を開催。動と静の究極の前人未踏のパフォーマンス。

<スペシャル参加>

宮田 歩 Miyata Ayumu

子供の頃から空を飛ぶことを夢見て育ち、学生時代にハングライダーを始め、スカイスポーツの世界に。世界中で開催されたワールドカップに参加転戦。



アーティスト 上野雄次
作品タイトル 車上茶会
作品設置場所 プラザおおるり(島田駅)、ぼいんぼいん山(抜里駅)



アーティスト 上野雄次
作品タイトル 大井川流上茶会
作品設置場所 大井川(川根温泉笹間渡～抜里)



アーティスト 内田慎之介
作品タイトル NUKURI HEROES
作品設置場所 ヌクリハウス(抜里駅)

2018年よりはじまった当芸術祭において、作家との交流を重ねてきた「ヌクリハウス」。この襖をキャンパスに、実在する抜里の人々が登場人物となり、抜里を襲う脅威と戦うヒーロー漫画を2023年の本芸術祭にて制作開始。本年完成した襖のお披露目となる。作品は一階と二階部分に展開されている。



アーティスト かずさ
作品タイトル 碗琴道島田流
パフォーマンス実施場所 清次のちゃべや(抜里駅)

滞在中印象的だった、大雨で流された土砂によって削られた山肌と倒木、壊滅してしまった道と作られた違う道。その道を通って山頂から見下ろす鶴山の七曲り。

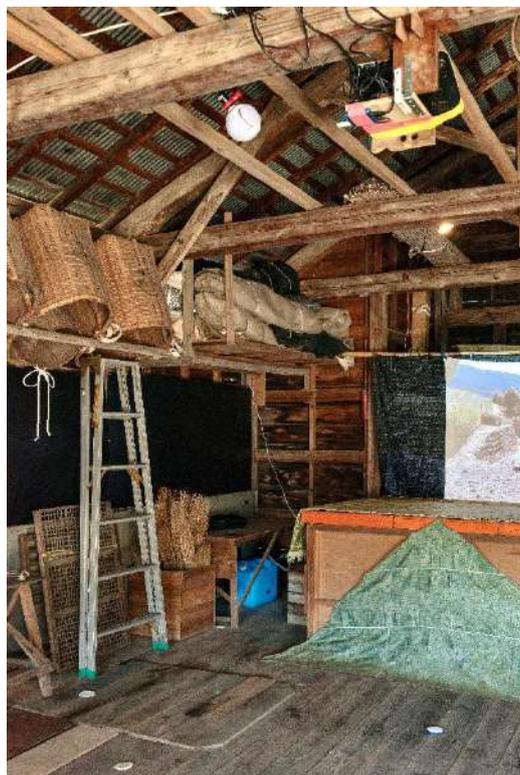
簡単ではないけれど、寄り合って考え、盃を交わせばまた笑うことができるということ、大井川鐵道の無人駅とそこから広がる集落で出会うものが教えてくれている。

島田市に滞在して経験したことから「農の作法」「茶飲み話の作法」「宴会の作法」をキーワードに組み立てた「碗琴道島田流」を制作する。

碗琴道とは、2010年より制作している食器を用いたパフォーマンス作品。何も無いところに食器を運び、並べ、音を鳴らし、しまい、立ち去るまでを創作した作法に則って行う。

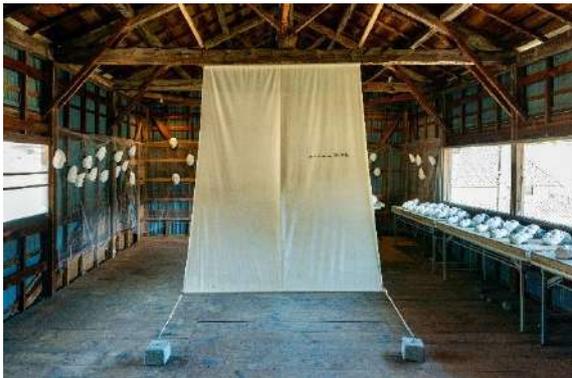
何度でも回復する日々の営みの中にある喜びを表現したい。

* 会期中の毎木～日に一日3回(11:00～、13:00～、15:00～)パフォーマンスを開催



アーティスト 形狩りの衆
作品タイトル 顔の家
作品設置場所 天野邸(抜里駅)

ライフマスクのワークショップを通じて、参加者が互いの顔に石膏を塗り、はがし、壊さないように顔型をむき出す。相手への思いやりや信頼、緊張と不安、安堵と喜び。さまざまな感情が行き交う場面に立ち会ってきた。「今生きているお互いをいとおしみながら、今を残す」活動。



アーティスト 木村健世
作品タイトル 無人駅文庫 代官町
作品設置場所 代官町駅ホーム

代官町駅にまつわる記憶、思い出、できごと——。

一見なにもない無人駅には、その周辺に住む人たちの人生や暮らしの足跡が積層しています。
目には見えないけれど。

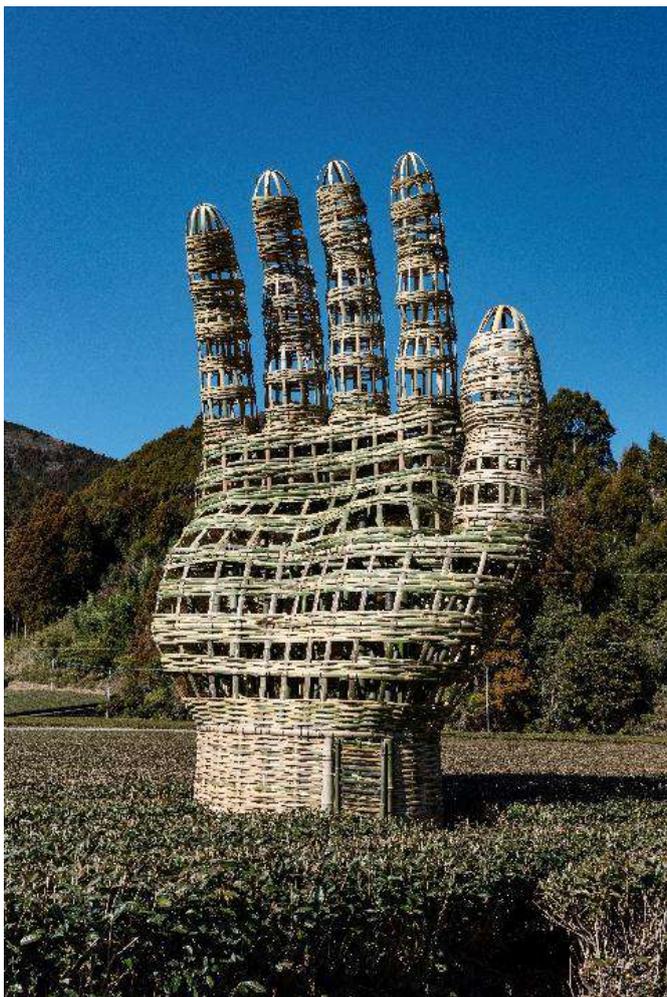
インタビューによって集められた「駅の記憶」それぞれを一編の小説として捉え、
そのあらすじを記した「無人駅文庫 文庫目録」を駅のホームに置く。

そのページをめくるときに浮かび上がり、再生されるシーンは
あなたに、どんな駅の風景を見せてくれるでしょうか。



アーティスト 小山真徳
作品タイトル てのひら
作品設置場所 茶畑(抜里駅)

山と山に挟まれた大井川流域では、対向車が譲り合わなければ通れない狭く険しい道が多々ある。滞在制作の際、対向する軽トラの運転席から、軽く右手を掲げる仕草でこちらに合図をおくるやさしい手のひらを何度も見た。蒸気機関車に乗った時には、SL に向かって手を振るひとびとを車窓からみた。沿線から、温泉の露天風呂から、茶畑から。遠くからでもその小さな手のひらは存在感がありわたしは自然と目で追った。何気ない手のひらが旅の上では無性に恋しい。わたしはいつまでも変わらない普遍的な情愛のサインである手のひらをこの土地に作ろうと思う。



アーティスト 佐藤悠

作品タイトル おはなしの駅 門出

作品設置場所 KADODE OOIGAWA TOURIST INFORMATION おおいなび入り口(門出駅)

一枚の画面に絵を描きながら、その場の全員で即興の物語を作るパフォーマンス「いちまいばなし」を実施して、たくさんの「おはなし」を作ります。「何がどうした? どうなった?」と参加者へ順番に物語の続きを問いかけていき、答えてもらった内容を1枚の絵に描き足していくと、誰の想像もつかない「おはなし」ができあがります。参加無料・実施時間約15分。3人以上の希望者が集まれば、そこから「おはなし」が始まります。 ※2月10、11、12、23、24、25日の6日間開催。



アーティスト さとうりさ

作品タイトル 本人

設置場所 ぼいんぼいん山(抜里駅)

寺山(通称ぼいんぼいん山)を 180 分の 1 スケールで形成した、見て・触って・座れる作品。設置されている位置は作品の座面位置とほぼ一致する。風景を眺め、山のかたちに触れ、自分の“現在地”を確認する時間は、それぞれの“今”をクリアにしてくれる。もっと本人になれる。

“わたしはここにいる”



アーティスト さとうりさ

作品タイトル 地藏まえ3/サトゴシガン

設置場所 5班集体所(抜里駅)

「パブリックアートもお地藏さんのように地域になじむのは可能か」というテーマでご家庭でオブジェ作品を預かってもらうプロジェクト。果たしてパブリックとプライベートの境界線はどこに？



アーティスト さとうりさ

作品タイトル 地蔵まえ4/縫い合わせ

設置場所 駅近くの茶畑(抜里駅)

これまでの「無人駅の芸術祭」で制作されたオブジェ作品が、地域の方々の協力を得てバルーン作品となった。オンライン対話と配送を駆使した協働制作は、私たちにどれくらいの達成感を与えてくれるのだろうか。またそれは見る人へ伝わるのだろうか。

※会期中の土・日、天気の良い日に出現。

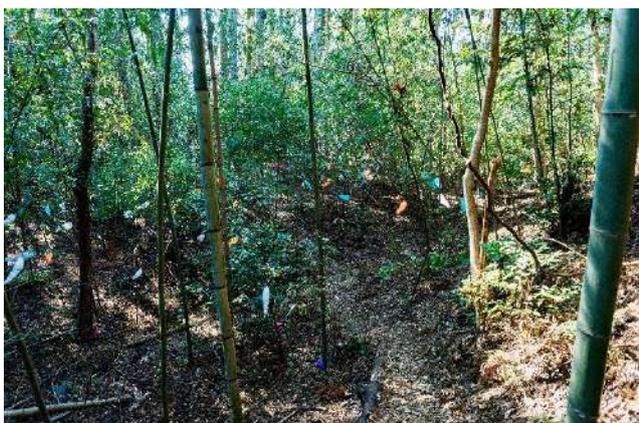


アーティスト さとうりさ

作品タイトル くぐりこぶち

設置場所 しまの竹やぶ(抜里駅)

現在では禁止となっている野鳥を獲るための罠「こぶち」を、生きものたちのエネルギーが交差していた場所と捉え、やぶのなかにインスタレーションを制作。「くぐりこぶち」を通り抜けたとき、ほんの少し世界が変わって見えるかもしれません。



アーティスト さとうりさ

作品タイトル メダム K

作品設置場所 天野邸(抜里駅)

「黄金町バザール 2011」(横浜市)で制作されたこの作品は、かつて違法飲食店で働いていた女性たちを意味している。人のかたちをしていても、女性を示す記号的要素はない。娼婦という職業に対する一辺倒のイメージから自由になれたらという考えが制作のきっかけとなっている。



アーティスト 獅子の歯ブラシ×女子美術大学
作品タイトル 風土のボディランゲージ
作品設置場所 めくり園(抜里駅)

創作獅子舞ユニット「獅子の歯ブラシ」の指導のもと、女子美術大学の学生 10 名が身体表現を用いた地域リサーチプロジェクトに取り組んだ。参加者それぞれの視点で芸術祭の会場となる抜里の風土にふれ、発見したことを身体で「語る」試み。

10 名の学生たちは芸術祭に先駆けて開催された「獅子の歯ブラシ」による現地でのワークショップを通して、自分の気になった場所で発見した「価値」をさまざまな形のボディランゲージで表現し、共有する。

ワークショップを牽引した獅子舞ユニット「獅子の歯ブラシ」は抜里の風土と触れ合うためのメディアとして、新たな獅子舞を創作し、地域の家いえを角付けしながら練り歩いた。

また、現地でのワークショップを通して、30 年前に地域で作られた大獅子が発見され、学生たちの手によって修繕の後、復活の舞を演舞することができた。

本作品の会場では、これら 3 つの活動成果を映像にまとめて展示する。



アーティスト 泰然 × きみきみよ
作品タイトル あかりのありか《OI》
作品設置場所 三ツ星小学校(川根本町)

「積み木であかりのワークショップ～童話を題材とした読書感想光～」は、光源にLED、反射材・遮蔽材に積み木を使い「照明の良否は光源と反射・遮蔽等のバランスによる」との知見を子どもたちが学ぶ、アート・サイエンスコミュニケーション活動。紙飛行機の「こーき」が、蒸気機関車の「じょーき」と出会い、奥大井湖上駅を目指して大井川を遡上する題材童話「あかりのありか《OI》」は、物語のみで絵がない。物語を読んだ島田市・川根本町の子どもたちとともに、LEDと積み木で絵を「読書感想光」として造形し「絵本」を完成させる。



■泰然 アウトリーチワークショップ実績

- ・1月18日(木) 川根本町立三ツ星小学校 6年生 27名
- ・1月22日(月) 静岡県立川根高等学校 2名
- ・1月24日(木) 島田市立六合小学校 34名
- ・1月24日(木) 五和保育園放課後児童クラブゆめっこ 30名
- ・1月29日(月) 初倉中学校 10名



アーティスト TAKAGI KAORU
作品タイトル 内なる器は際限なく育っていくはずだ
作品設置場所 元鈴木家(抜里駅)

複数年にわたる集落との交流の中で、作品づくりの域を超え、茶業にも関わりをはじめている。空き家に残る生活の面影、その空き家をひらいてくれた持ち主の気持ちの変化。そういう器の裏側のようなものが作家を通して変容していく過程を表現する。

3月2日には、この水引作品の中でお茶会を開催。



■ワークショップ: TAKAGIKAORU × お茶会「抜里のひととき」

開催日: 3月2日(土)12:00~13:30 場所: 元鈴木家

作品がどのように育っていくのか。茶畑の集落だからこそ作品が育つ1年間をお話できる時間「抜里のひととき」を開催。半農半アートプロジェクトで収穫したお茶「Nukuri no hitotoki」を TAKAGIKAORU の器で楽しみながら話す濃密な時間。

アーティスト TAKAGI KAORU
作品タイトル 抜里の茶畑に色を咲かせる
作品設置場所 東原の茶畑(抜里駅)

私たちは自身で見ている日々の景色を意識することもなく暮らしている。
収穫されなくなった茶畑が増えている。手入れをされなくなると茶畑はそこだけ森のようになり荒れていく。その森のような茶畑にみんなで「色」を咲かせ自分の手で風景を変える体験を 2023 年 11 月に約 40 名で開催。



アーティスト 中村岳
作品タイトル 遡及空間(そきゅうくかん)
作品設置場所 逢おう丘(川根本町)

ぼくの作品は彫刻ではない。空中に自由に絵を描きたいと思い作品を作る。空中をキャンバスに見立てて、縦横無尽に絵を描く。絵描きは常に絵画の支持体を意識しており、枠組みで切り取って空間を認識している。抽象絵画ではグリットを利用して切断作用によって空間を作ることを考える。立体物を実体として見ているよりも、平面として脳内変換している。



アーティスト ヒデミニシダ
作品タイトル 境界のあそび場Ⅱ／ちゃばらのカーテン
作品設置場所 茶畑(抜里駅)

茶畑の一角にひらひらと漂う大きなカーテン。下には円形のベンチが設えられ、訪れる人々の休息の場となる。

茶畑の空に漂う柔らかな布地の向こうには世界の輪郭が浮かび上がり、はためく裾から見え隠れするその端々に、世界の細部がきらめく。



アーティスト ヒデミニシダ
作品タイトル 境界のあそび場Ⅳ／音の要塞
作品設置場所 ぼいんぼいん山

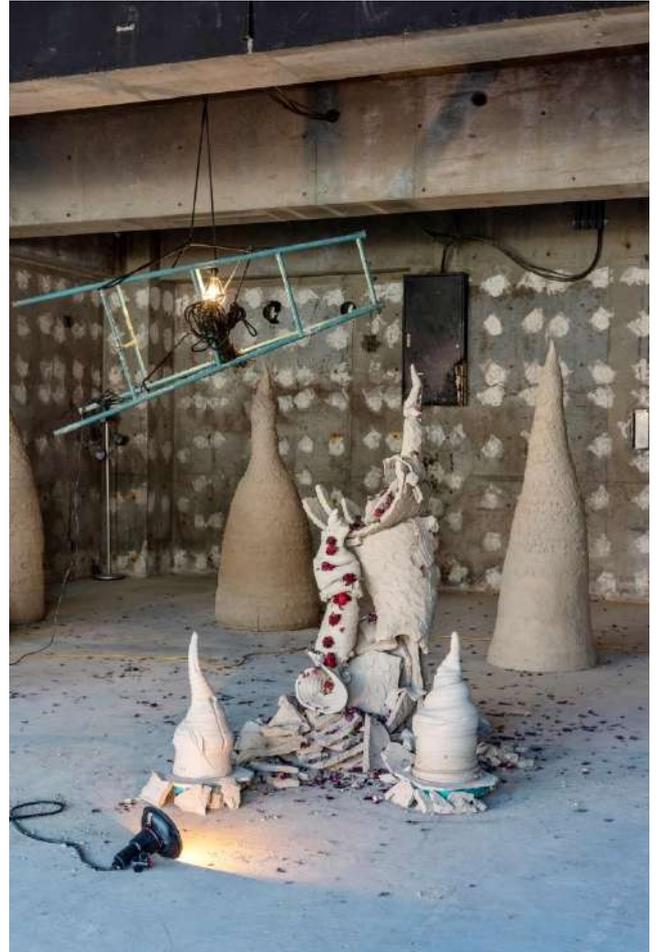
大井川流域の地域では、古くから対岸との物流、人の行き来、そして情報の交換のために様々な手段が工夫されてきた。この要塞は、「交信」の努力をしてきた人々へのオマージュ。自動車での行き来が容易になり、大量の情報を瞬間のうちに交換できるようになったいま、我々の感官はこの要塞からどんなメッセージを発信し、目の前の風景からどんな返答を受け取るのだろう。



アーティスト 前田直紀
作品タイトル 土纏～tsuchi.matou～
作品設置場所 島田駅前通り(旧岡むらのぼる)

土が焼かれて“やきもの”になる。通常の“やきもの”としての展示空間と“やきもの”になりきれない生(ナマ)の塊のインスタレーションの空間。海外での制作経験を経て、土地と自身がつながる感覚を作品に問う。陶芸の制作者としての表現、空間が土纏う瞬間。

3/2(土)には、同空間にて、華道家上野雄次とのライブパフォーマンスを開催。



■“生”土を纏う二人

—前田直紀×上野雄次ライブパフォーマンス—

前田直紀が作陶した生土に、上野雄二が花いけを行う唯一無二のライブパフォーマンス。

陶芸家と華道家、予測不能な2人のセッションに観客は興奮、圧倒された。

・音楽: REEA ・シャドウボクシング: 小栗滉太郎



アーティスト 森繁哉

作品タイトル 抜里版・竹取物語

パフォーマンス実施場所 しまの竹やぶ(抜里駅)

古来より日本芸能にあっても、集落内の「裏山＝能的場」と「河原＝歌舞伎的場」は芸能活動を促し、そのことを醸成していく創造地であった。

こうした伝統的な芸の発生を、集落空間が生み出していく現代の芸術的活動に変換して、その作品を「集落＝舞踏場」と位置付ける。芸術祭という場から、舞踏・芸術の起こりを考える。

2月24日公演。



■ワークショップ:「集落地図を描こう」みんなの集落遊び

開催日:2月23日(金祝)13:30~ヌクリハウス

民俗建築研究家である早川知子氏、音楽家・舞踏家の松村知紗氏と共に抜里集落を歩いてさまざまなポイントで絵を描いていくワークショップを開催。

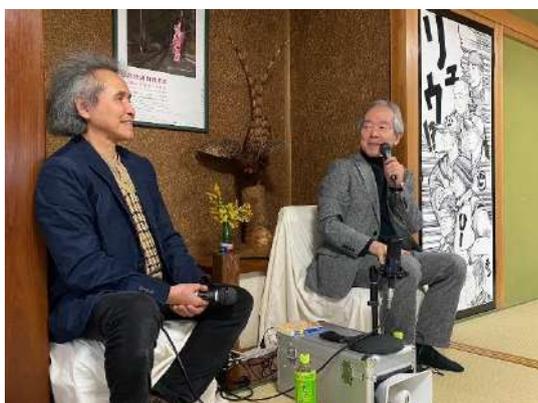
※雨天のためヌクリハウスにて開催。



■イベント:赤坂憲雄による「大井川常民大学の開校記念公演」

開催日:2月25日(日)13:30~ヌクリハウス

芸術祭の開催を重ねる中、「無人」から始まる「有」への展望を促していく実践的テーマを模索してきた。集落がその基礎体力を養いながら、他地域との連携を図りながら、本質を見据え芸術との関係を探り、そうした学びと活動の実践こそが芸術であるということ为基础とした地域づくりの場をひとつの芸術活動にしていくための道筋を探る。民俗学者赤坂憲雄を迎えての開校記念公演、森繁哉、大石歩真による記念対談を開催。



■奥会津から提案(大井川常民大学開校記念座談会)

— 地域誌の実践から見てくること — 講師:遠藤由美子氏

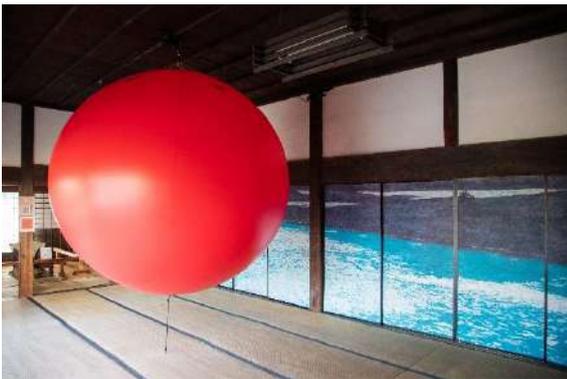
開催日:2月26日(月)13:30~ヌクリハウス

アーティスト カ五山

作品タイトル 川越し・渡る願い 日切・願いをつなぐ

作品設置場所 川会所・日切駅ホーム

大井川を挟んで、駿河側の川越し街道の川会所における「渡る願い」と、遠州側の大井川鐵道日切駅における「願いをつなぐ」の2作品を展示する。歴史的な交通の要所である兩岸の展示を通じ、連綿と続く人と人とのつながりや願いに思いを馳せたい。



05 芸術祭オフィシャルイベント =====

■芸術祭に向けた拠点整備

※インフォメーションセンターは「ヌクリハウス」へ設置

[SIDE KUME]



[茶ばらテラス]



■オープニングセレモニー

日時:2月10日(土)16:00~17:00 場所:川根町抜里:地域交流センター)



■芸術祭オフィシャルアート回廊バス

日時:2月11日(日)、18日(日)、23日(金)、24日(土)、25日(日)、3月9日(土)、16日(土)10:10~16:00

場所:島田駅エリア→抜里エリア→川根本町エリア→抜里エリア→KADODE OOIGAWA→島田駅エリア



■芸術祭オフィシャルガイドツアー(ウォーキング)

日時:2月11日(日)、18日(日)、23日(金)、24日(土)、25日(日)、3月9日(土)、16日(土)、11:00~

場所:抜里エリア



06 関連イベント&プログラム～アートプラット／大井川

UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川」の開催にあわせた市民登録型の小規模イベントを集約させるプラットフォーム事業として『アート・プラット／大井川』を開催した。プログラム企画作りの伴走支援、広報や受付支援を実施することで、多くの団体や個人、店舗が参画した取り組みとなった。

アート・プラット／大井川

■ 開催趣旨

『アート・プラット／大井川』とは、街中から里山まで、お店や施設などで開催する、文化的な活動や取り組みを集めて紹介する市民登録型のプラットフォーム事業。UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川の開催期間にあわせ、大井川流域地域の、小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートを行うことで、市民の主体的な参画を促進し、大井川流域地域における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指します。

■ 事業目的

1. 大井川流域地域における文化芸術の振興
2. 大井川流域地域における文化芸術の鑑賞機会の充実
3. さまざまな芸術表現の発表機会の提供
4. 大井川流域地域における集客交流人口の多様化

■ 実施プログラム(芸術祭開催)

	プログラム名	日時	開催場所	企画者	参加者数
	アート×ガストロノミーツアー ズム	3月2日(土)	ヌクリハウスほ か	芸術祭、静岡旬 を食べ尽くす会	13名

■ 実施プログラム(企画者開催)

	プログラム名	日程	開催場所	企画者	定員数
1	ほほえみの陶ひな人形展開 催	2月10日(土) ～29日(木)	ささやき窯 ギャ ラリー楽友	ささやき窯	なし
2	和太鼓を体感してみよう!	毎週月曜日	初倉井口公会 堂	さんろく太鼓	各回10名
3	お茶柄手ぬぐいのストール作 り	3月15日 (金)、16日 (土)	恋衣洋裁倶楽 部 工房	恋衣洋裁倶楽 部	各回3名
4	小学生向き、LEGO ロボットプ ログラミング	2月13日～3 月12日の月、 火曜日	クラブ SOJI 小澤亮司	月曜:自宅前教 室 火曜:ひだまり ハウス	各回2名
5	はじめてのヨガ	2月23日(金・ 祝)	ヨガスタジオ SAEYOGA	SAEYOGA	各回8名
6	ばらの丘公園で作ろう! 手作 りフラワー	3月9日(土)、 10日(日)、16 日(土)、17日 (日)	島田市ばらの丘 公園	島田市ばらの 丘公園	なし

7	踊る！弾む！母部で楽しく身体を動かそう！	2月22日(木)	踊る！弾む！母部	島田市総合スポーツセンター ローズアリーナ	8名
8	島ママ Dream マーケット vol.13	3月9日(土)、 10日(日)	島ママ Dream	旧島田市北中学校体育館	なし
9	アートと空間をさらに引き立てる香り	3月10日(日)	銀の山 希代智子	ヌクリハウス	5名
10	島田市立図書館でアート特集！	2月3日(土)～ 3月17日(日)	島田市立図書館	島田図書館、金谷図書館、川根図書館	なし
11	昨年のメールアートを公開！	2月10日(土)～ 3月17日(日)	あおべさとのくらし 風兎 佐藤美和	ヌクリハウス	なし
12	川根本町の伝統芸能に触れる	2月10日(土)～ 3月17日(土)	静岡県立川根高等学校 地生学	フォーレなかかわね茶茗館	なし
13	アンガーマネジメントキッズ講座	3月26日(火)	秋田美八子	みんなで作る河原町の居場所	8名
14	親子パン教室「かめさんメロンパンを作ろう」	2月18日(日)	秋田美八子(管理栄養士)	島田市プラザおおり栄養指導室	8組
15	ココミラ島田「みんなの文化祭」	4月3日(水)～ 23日(火)	ココミラ島田	金谷図書館 展示コーナー	なし
16	川越し街道 de マルシェ開催	2月23日(金祝)	一般社団法人 しまだきものさんぽ 小澤京子	大井川川越遺跡	なし

■実施プログラム紹介(抜粋/芸術祭開催)

プログラム名:アート×ガストロノミーーツーリズム

日時:3月2日(土) 場所:昼の部:JR 島田駅北口集合～ヌクリハウス 夜の部:磯藤

参加費:通し参加 16,000円 昼の部のみ:8,000円 夜の部のみ:8,800円



■実施プログラム紹介(抜粋/企画者開催)

・プログラム名:はじめてのヨガ 企画者:SAEYOGA

日時:2月23日(金祝) 場所:ヨガスタジオ SAEYOGA 定員:8名

ヨガをやったことのない人にははじめての一步になるヨガ。身体がかたい人こそ大歓迎！今年はヨガにチャレンジしてみませんか？



・プログラム名:小学生向き、LEGO ロボットプログラミング 企画者:クラブ SOJI 小澤亮司

日時:2/13~3/12の月曜・火曜 場所:月曜:自宅前教室 火曜:ひだまりハウス

参加:1000円 定員:各回2名まで

参加費:800円 定員:各回最大2名

レゴを組立、プログラムして、動かす中で、分析力・創造力・実践力・集中力がつき、論理的思考ができるようになります。動きを説明する場面があり、説明力・言語力が上がります。ぜひ、お試しください。



・プログラム名:昨年のメールアートを公開！ 企画者:銀あおべさとのくらし 風兎 佐藤美和

日時:2/10(土)~3/17(日) 場所:ヌクリハウス

昨年のアートプラットで開催した「メールアート」。来年の芸術祭の時に開封しよう！と手作りポストに作られた皆さんが投函しました。そして今年、ついに開封し展示をします。作り手には芸術祭参加のアーティストの手紙も！書いた方はもちろん、どなたもメールアートの世界をぜひ楽しんでくださいね。



・プログラム名:川越し遺跡 de マルシェ開催！ 企画者:一般社団法人しまだきものさんぽ 小澤京子

日時:2月23日(金祝) 場所:大井川川越し遺跡

博物館無料開放日に川越し街道マルシェを行います。博物館の企画「レトロファッション」を見ながらお出掛けください。番宿でも出店しますよ。街道ではフード系も沢山出店されます。着物レンタル着付けのご予約をお待ちしています。



・プログラム名:親子パン教室「かめさんメロンパンを作ろう」 企画者:秋田美八子(管理栄養士)

日時:2月18日(日) 場所:島田市プラザおおるり営業指導室

毎月第3日曜日は「島田市家庭の日」。2月の家庭の日は、親子でパン作りにチャレンジしません。かめの形のかわいいメロンパンを1組3個作ります。



・プログラム名:お茶柄手ぬぐいのストール作り 企画者:恋衣洋裁倶楽部(渡邊みわ)

日時:3月15日(金)、16日(日) 場所:恋衣洋裁倶楽部 工房

好きな手ぬぐいを選んで、端を房にする作業をします。その場で縫い合わせも可能。お茶柄デザインのかわいい手ぬぐいに触れあって、素敵なストールを作りましょう。



07 協力団体・協力会社

多くの団体や企業の支援と協力を頂き開催を行った。

(順不同・敬称略)

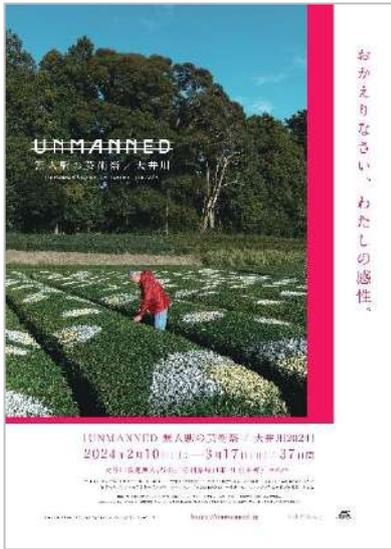
- ・静岡県
- ・島田市
- ・川根本町
- ・抜里エコポリス
- ・抜里町内会
- ・一般社団法人島田市観光協会
- ・三ツ星小学校
- ・女子美術大学
- ・川根茶めぐり園
- ・さよばあちゃんの休憩所
- ・魚藤商店
- ・久米商店
- ・ゆりの会
- ・宮田歩
- ・ダッキーズ
- ・赤坂憲雄
- ・奥会津書房
- ・小栗滉太郎
- ・REEA
- ・大井川鐵道株式会社
- ・和信化学工業株式会社
- ・ふじのくに旬を食べ尽くす会
- ・片川工務店
- ・北斗建材株式会社
- ・株式会社クリーントライ
- ・であい農園
- ・寝装寝具みやち
- ・なるおかサイクル
- ・茶風香
- ・有限会社青島セメント店
- ・株式会社寿電機
- ・「アートプラット／大井川」プログラム参加の企業及び店舗・団体の皆さま

ほか多数の協力及び支援を頂いた

09 広報

各種制作物としては、ポスター、公式パンフレットを制作した。ポスター、パンフレットは公共機関、全国の美術館に掲出及び配布を依頼した。ウェブメディアを活用するとともに、制作したPR動画は、SNSなどで放送した。その他、地域フリーペーパーを活用し開催前から進捗を伝えていく広報を行った。

| 各種制作物 | ポスター



公式パンフレット



| フリーペーパー |

地域情報誌 cocogane(エリア: 島田市・吉田町・牧之原市)

3月号(芸術祭特集)



2月号(芸術祭特集)



1月号(芸術祭コーナー)「海外アーティストが見たシマダとは？」



| ウェブメディアの活用 |

Facebook (イベントの告知や、写真や動画を用いたプロモーションなどを中心に発信した)

投稿数: 198 リーチ数: 9249 (2/7~3/8) 現在フォロワー数: 1109 人 (156 人増)



Instagram (集落の風景の美しさや作品の魅力を伝えることを重点において写真を投稿した)

投稿数: 68 リーチ数: 3264 (2/10-3/6) 現在フォロワー数: 1276 (632 増)



X (旧 Twitter) (鑑賞者の視点で魅力をリポスト発信多数。)

投稿数 現在フォロワー数 246 (111 増)



You Tube 「無人駅の芸術祭事務局」チャンネル

今年度 11 動画を掲載



「のぼり旗」

のぼりは、駅や作品周辺などに掲出した



「パブリシティ実績」新聞・雑誌・広報誌 |

美術手帖「横浜トリエンナーレ」から「大地の芸術祭」「KYOTOGRAPHIE」まで。2024 年注目の国際芸術祭ベスト 10 選出



静岡新聞「ふるさとふれあいインフォメーション」

2023 年 12 月 27 日



静岡新聞 2024 年 1 月 25 日





しずおか中部 5 市 2 町イベントニュース「GO TO」冬号



・月刊 茶



| その他広報 |

・杏林堂 デジタルサイネージ動画広告 2 月



・島田市役所庁舎内サイネージ掲載(動画) オリジナル 15 秒 CM 動画 3 月前半



| メディア出演 テレビ・ラジオ |

- ・SBS ラジオ「クローズアップマイタウン」CM 読み上げ
- ・K-MIX 告知読み上げ 2 月
- ・FM 島田「市長と語ろう」 兒玉、アーティスト TAKAGIKAORU 出演 2 月 1 日
- ・FM-Hi 電話出演 2 月 21 日
- ・FM 島田「わくわく文化イベント情報」生出演 3 月 8 日
- ・TOKAI ケーブルネットワーク「トコチャンワイド」生出演 3 月 8 日
- ・BSよしもと番組取材 3 月 16 日
- ・静岡第一テレビ「NEXT」取材 3 月 16 日

10 来場者数

当芸術祭への総来場者数は、約 4 万 5 千人(44,484 人)となった。総回遊数は、21,299 となった。

日付	曜日	来場者数(人)		回遊数	
		インフォメーションセンター(基準)	総来場者数(基準×4エリア)	総回遊数(基準×24作品)	
2月10日	土	241	964	5,784	オープニングイベント かずきパフォーマンス
2月11日	日	286	1,144	6,864	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) かずきパフォーマンス
2月12日	月	293	1,172	7,032	
2月13日	火	254	1,016	6,096	
2月14日	水	297	1,188	7,128	
2月15日	木	109	436	2,616	かずきパフォーマンス
2月16日	金	131	524	3,144	かずきパフォーマンス
2月17日	土	289	1,156	6,936	かずきパフォーマンス
2月18日	日	237	948	5,688	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) かずきパフォーマンス
2月19日	月	287	1,148	6,888	
2月20日	火	105	420	2,520	
2月21日	水	155	620	3,720	
2月22日	木	137	548	3,288	かずきパフォーマンス
2月23日	金	177	708	4,248	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) みんなの集落遊び かずきパフォーマンス
2月24日	土	498	1,992	11,952	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) 森繁哉公演 かずきパフォーマンス
2月25日	日	367	1,468	8,808	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) 赤坂憲雄講演 かずきパフォーマンス
2月26日	月	256	1,024	6,144	
2月27日	火	278	1,112	6,672	
2月28日	水	309	1,236	7,416	
2月29日	木	143	572	3,432	かずきパフォーマンス
3月1日	金	165	660	3,960	かずきパフォーマンス
3月2日	土	679	2,716	16,296	TAKAGIKAORUワークショップ ガストロノミーツアーリズム 前田×上野パフォーマンス かずきパフォーマンス
3月3日	日	476	1,904	11,424	かずきパフォーマンス
3月4日	月	244	976	5,856	
3月5日	火	157	628	3,768	
3月6日	水	114	456	2,736	
3月7日	木	246	984	5,904	かずきパフォーマンス
3月8日	金	346	1,384	8,304	かずきパフォーマンス
3月9日	土	437	1,748	10,488	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) かずきパフォーマンス
3月10日	日	535	2,140	12,840	かずきパフォーマンス
3月11日	月	231	924	5,544	
3月12日	火	178	712	4,272	
3月13日	水	345	1,380	8,280	
3月14日	木	386	1,544	9,264	かずきパフォーマンス
3月15日	金	366	1,464	8,784	かずきパフォーマンス
3月16日	土	689	2,756	16,536	公式ガイドツアー(バス&ウォーク) かずきパフォーマンス
3月17日	日	678	2,712	16,272	かずきパフォーマンス
合計		11,121	44,484	211,299	

※来場者のカウントについて:当芸術祭は、作品が広域にわたって分散設置され、目的とせずとも目にする事ができる屋外作品も多く含まれているため、芸術祭への来訪に限定した実績や、作品ごとの来場者数の測定は困難である。そのため、当芸術祭では以下の方法をもって来場者の計測としている。

■基準値:常駐スタッフのいるインフォメーションセンターでのカウント(実数)及びイベント等参加数 ■総来場者数:基準値×4(2作品以上が設置されている4エリアは来場者の平均的なルートとして選択されやすいことを考慮) ■総回遊数:基準値×21作品

【参考】昨年度の総来場者数は 29,620 人、総回遊数は 140,695 であった。(計測方法は同じ)